

第 79 回 J C B H フォーラム開催報告

新しい段階にきた中国経済と中国ビジネス戦略

中央大学大学院戦略経営研究科（ビジネススクール）教授
服部 健治 氏

日 時：2011 年 2 月 17 日（木）16：00 - 17：30

場 所：（財）日本建築センター 9F フォーラム

テーマ：「新しい段階にきた中国経済と中国ビジネス戦略」

講 師：中央大学大学院戦略経営研究科（ビジネススクール）教授 服部健治

参加人数：29 社 52 名

講師プロフィール

1972年 大阪外国語大学中国語学科卒、南カリフォルニア大学
大学院修了

1979年 （財）日中経済協会入会、北京事務所副所長、
日中投資促進機構北京事務所主席代表

2001年 愛知大学現代中国学部教授、コロンビア大学東アジア
研究所客員研究員

2008年 現職、中央大学大学院戦略経営研究科
（ビジネススクール）教授

北京駐在通算11年の現場主義を踏まえ、「対中投資経営
論」、「中国産業市場分析」、「アジア経済論」等を教える
著書に「アジア工業化の軌跡」、「アジア時代の日中関係」（共著）など

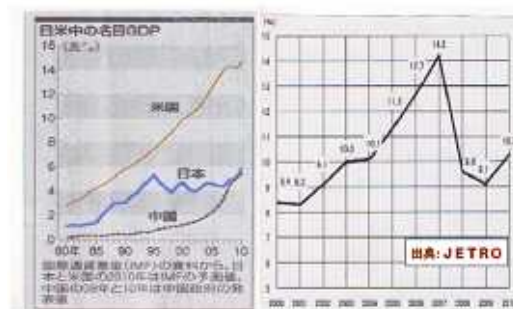


今回で 79 回目となりますフォーラムは、春節イベントとして中央大学の服部先生を講師
にお迎えし「新しい段階にきた中国経済と中国ビジネス戦略」についてお話をいただきま
した。

まずはじめに、昨年 9 月に起きた尖閣諸島の問題を例に、私たち日中関係に関わるビ
ジネスマンにとってどのような視点を持てばよ
いかということ、日本が持つべき認識、とる
べき中長期戦略、日本のビジネスマンとして取
るべき態度など、この問題から学ぶべき事項に
ついてお話をされました。

本題に入り、まず昨年中国の GDP が日本を
抜き世界第 2 位になったことについて詳細委分
析をいただきました。まずはその意義、そして

中国の GDP 成長率の推移



その要因や新たな段階となった中国経済の動き、第12次5ヶ年計画の骨や、その背景など。また、問題点や解決すべき課題等々。

そして、この中国の大きな流れの中で、対中戦略経営の認識転換、心構え、中国市場のチャンス・リスクなど、様々な観点から日本企業がどのような戦略を持つべきかというお話をまとめていただきました。キーワードとして現地化ということが重要となる中で、人材については現地の中国人スタッフをそう育成することにより、現地に派遣する日本人駐在員の資質と能力が今問われているという話は、非常にインパクトがあり、興味を持って聞かせていただきました。



講演資料の最終ページの写真で、天安門広場の国家博物館の前に孔子像が建てられたというご紹介がありましたが、これは、情報提供委員会によります1月25日配信のメールマガジン Vol.8でもご紹介していますのでご参照ください。

服部先生にはたくさんの資料をご用意いただき、非常に分かりやすくなるお話をいただきましたが、最後が少し時間がなくなったのが大変残念でした。機会があれば、ぜひまたお願いしたいという意見も出ています。

服部先生、どうもありがとうございました。

このフォーラムの様子は会報誌「日中建築住宅情報」2・3月号で詳しく掲載しておりますのでご覧ください。また、服部先生には会報誌12・1月号から「新しい段階を迎えた対中ビジネス」と題して連載記事を執筆いただいております、2・3月号には第2回目が掲載されていますので、こちらも是非お読みください。



フォーラムの様子